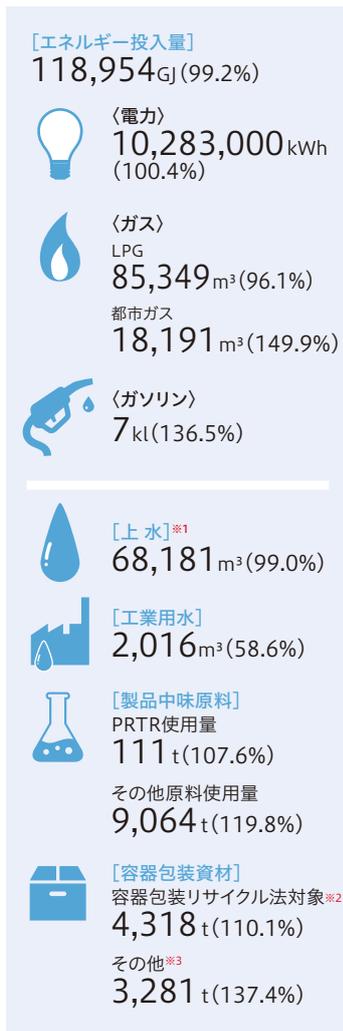


国内マダムグループの環境負荷の全体像(2022年度実績と前年度比)

【工場、オフィス・研究所】



【工場、オフィス・研究所】



産業廃棄物再資源化率99.8%(99.8%)

●福崎工場	99.9%(99.9%)
●本社・研究所	100.0%(100.0%)
●国内拠点	100.0%(100.0%)
●その他	99.1%

注:その他は、返品商品および販促物産業廃棄物処理によるもの
()は事務系一般廃棄物を含んだ場合の再資源化率

福崎工場・物流での産業廃棄物リサイクルの現状

●マテリアルリサイクル	2,423t(79.4%)
●ケミカルリサイクル	0t
●サーマルリサイクル	831t(304.4%)
●埋め立て量	7t(43.8%)

(備考)外注加工品は含まず

【物流・輸送】



【物流・輸送(スコープ3・カテゴリ-4)】



【営業活動】



【営業活動(スコープ1)】



※1 上水使用量および排水量は、営業拠点を除く(データ入手困難)

※2 ガラス製、紙製、プラスチック製容器など

※3 容器包装資材には流通資材は含まず(データ算出困難)

※4 廃棄物には産業廃棄物のほか返品商品(大気放散)や販促物を含む

※5 フィールドスタッフ等の推計値を含む



【お客さま】

